



市役所の人に聞いてみよう

～久慈湊小学校 社会科学習～

展望室から外を眺める児童ら



職員に質問をする児童



手を挙げて積極的に発言



市役所の執務室を見学

5月27日、久慈湊小学校の3年生20人が久慈市役所を訪れ、社会科学習を行いました。

展望室に上がり、市役所がどんな場所に建っているのか調査。「わあ、高い。よく見えるね」と、友達同士で楽しそうに話をしながら、市民体育館や情報交流センターなど知っている建物を発見し、気付いたことをメモに取りました。庁舎内の執務室も見学。結婚や引っ越しなどの手続きをしていることや、働く場所が増えるように企業に働きかけていることなどを学びました。

児童らは「市役所の高さは何センチですか」「屋上にあるアンテナは何ですか」など、疑問に感じたこと

を積極的に質問し、熱心にメモを取りました。

庁舎を案内した職員が「これからもさまざまな事に興味を持ち、いろいろな体験をしてください。たくさんの人と話をして友だちになり、大人になったら久慈市で働き、このまちを盛り上げてください」とメッセージを送りました。

なまきわなまき 瀧澤環さんは「市役所は色んなことをしているので、すごいと思いました」と目を輝かせました。大芦慶人よしとさんは「今回の社会科学習で、いろいろなことを知ることができました。普段行ったことのない展望室に入れたのが楽しかったです」と声を弾ませました。

自分の体を知ろう スポーツの体づくりの基本

6月8日、岩手県が主催する「スポーツ医・科学サポート事業」が行われ、三崎中学校の生徒18人が健康づくりや体力向上について学習しました。

講師の岩手県スポーツ振興課専任スーパーバイザーの山本繁さんは、運動機能チェックやケガをしない体づくり、良い姿勢を保つことの大事さを説明。生徒らは柔軟性の大切さや自分の体を思い通りに動かす訓練など、部活動にはない動きに戸惑いながらも、笑顔で実技を体験しました。

講師の山本さんは「6月18日の中総体の大会前のこの時期に、自分の体のパワーを最大限発揮できるような内容を指導した。今日の体験を日常生

活に組み込むことで怪我をしない柔らかい体になり、結果的に良いパフォーマンスにつながる」と日頃から意識して行う運動の重要性を語りました。



指導を行う山本さん

コミュニティスクールが始まりました

地域とともにある学校づくりを進めるコミュニティ・スクール（学校運営協議会を設置している学校）を今年度から導入しています。

令和4年度は、夏井地区学校運営協議会や山形中学校運営協議会、宇部小中学校運営協議会の3つの協議会が設立。第1回運営協議会がそれぞれの学校で行われ、地域住民や保護者、各団体など

学校の活動を応援する人で構成された委員から、運営方針や活動計画などの承認を受けました。今後、地域に根差した学校運営に向けて、話し合いを進めていきます。

他の学校においても、学校運営協議会を順次設置する予定です。ぜひ、地域の皆さんもコミュニティ・スクールの活動にご協力ください。

無料講座のご案内

「興味はあるけど誰か教えてくれる人はいないかな」「夏休み子ども会で気軽に楽しめる企画はないかな」など、悩んでいる人はいませんか。

市は、ボランティアバンクやサークル出前講座など「いつでも」「どこでも」「だれでも」学べる環境づくりのために講師派遣を行っています。

詳しくは市役所や各市民センターにあるチラシや市ホームページを確認ください

▶URL…<https://www.city.kuji.iwate.jp/kosodate/bunka/shogai/kohakunomachi.html>



新規講師登録者を募集

ボランティアバンク、サークル出前講座では講師登録者を随時募集しています。資格のあるなしは問いません。特技や能力を生かして、久慈市民に学びを届けたい！という熱意のある個人・団体なら、どなたでも登録できます。お気軽に問い合わせください。

ボランティアを募集しています

子どもたちの学びや遊びのサポートをする下記の有償ボランティアを募集しています。

■学校支援地域コーディネーター

学校の要望に応じて、学校を支援するボランティアの募集や、学校とボランティアの連絡調整を行います。

▶謝礼金…1時間 1,000円

▶募集している学校…夏井小学校 久喜小学校

■放課後子ども教室コーディネーター

小学生を対象とした工作教室やスポーツ体験教室などの企画運営を行います。

▶謝礼金…1時間 1,000円

▶募集地区…宇部市民センター

■放課後子ども教室サポーター

放課後子ども教室に参加した子どもたちの見守りを行います。

▶謝礼金…1時間 790円

▶募集地区…各市民センター

■生涯学習課 ☎52-2156



みんなで小久慈を盛り上げよう

まちづくり交流会

5月15日、小久慈市民センターで「まちづくり交流会」が行われました。この会は地域で取り組んでいる、それぞれの活動を町民に知ってもらい、顔見知りを増やしてほしいと、小久慈まちづくり協議会が主催となって開催。右の各チームの発表が行われました。

同会の鹿糠会長は「初めての試みだったが、大変有意義な取り組みになった。今後も町内で交流の場を増やしていきたい」とこれからの活動に意欲を見せました。

交流会に参加した大井さんは「自分は朝市チームで活動しているが、近所に住んでいても知らなかった人たちと交流するきっかけになった。これからも地域が盛り上がるように、さまざまな企画を考えていきたい」と意気込みを述べました。

▶朝市チーム…旧長内中学校を会場に7月から11月まで毎月1回朝市を開催。地域の交流、地産地消の場になっています

▶カフェチーム…手作業で焙煎し淹れたコーヒーを販売。好評を得ています

▶小久慈焼きチーム…地域住民が参加して窯元の環境整理や陶芸教室を行うことで、小久慈焼きを身近に感じてもらう活動をしています

▶桜チーム…小久慈の桜並木を広く知ってもらい、桜ウォーキングを楽しむことなど、地域の宝を再発見するための活動をしています

▶じゅうねチーム…食べると10年長生きすると言われている健康食品「えごま」の栽培、加工に挑戦し、朝市で販売する活動を行っています



まちづくり交流会を開催



カフェチームの自家焙煎コーヒー

江戸時代・若さまも参勤交代を学んだ 道中双六を体験

4月16日、大人の昔遊び体験会「参勤交代双六」がよむのすで行われ、約20人が参加しました。

江戸藩南部家に代々伝わる「道中双六」は、江戸末期に作られたもので、江戸から江戸までの参勤交代の道筋に沿って、100個以上の升が作られています。各升には、土地にまつわる俳句や短歌、江戸時代の美味しいもの、宿場町の言い伝え、源の義経の伝説、名所、工芸品など、歴史好きにはたまらない小話が盛り込まれ、参加者は振ったサイコロの目に一喜一憂。16代目当主南部光隆さんの軽快な解説にも会場は盛り上がり、楽しいひと時を過ごしました。

南部さんは「参勤交代双六は、まだ解読できていない部分もあるので引き続き調査します。新しい情報を携えてまた久慈の皆さんと一緒に楽しみたいです」と笑顔で思いを語りました。



双六の説明をする南部さん(右)

放送大学入学生を募集

放送大学は、10月入学生を募集しています。

全国の10代から90代までの、幅広い世代の学生約9万人が大卒資格の学位取得や自分のペースで学習できるなど、さまざまな目的で学んでいます。

心理学・福祉・経済・歴史・文学・情報・自然科学など約300の幅広い授業科目があり、1科目から学ぶことができます。自宅で学べるリモート学習も追加。詳しくは放送大学のHPを確認ください。

■大学説明会を開催します (予約不要)

会場	日時
二戸市民文化会館	8月21日(日) 15時～16時30分
放送大学岩手学習センター(盛岡)	8月27日(土)、28日(日) 10時～11時30分

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止になる場合もあります

■二戸会場で公開講演会を同時開催します

▶日時…8月21日(日)14時～15時

▶講演会…疫学:原因不明の“流行り”を識る
■放送大学岩手学習センター ☎019-653-7414

声楽家 間口友美インタビュー ♪ 音楽とともに ♪

間口友美さんは、八戸市在住の声楽家で、アンバーホールの合唱ワークショップや小久慈市民センターを拠点に活動する合唱サークル「コーラスけやき」を指導。コロナ禍でも、少人数制のグループレッスンを行うなど、さまざまな対策と工夫を凝らし、合唱活動を支え続けています。

8月に開催される「久慈・ベートーヴェン交響曲連戦演奏会Vol.4アンバーホール」では、オーケストラとの共演が実現。音楽や生涯学習について話を聞きました。

♪ 1 クラシック音楽を学び始めたきっかけ

八戸市は大人から子供まで合唱が盛んで、私も小・中学校と合唱部に所属していました。みんなで声を合わせて歌うことも楽しかったのですが、中学生の時、音楽の授業でオペラを鑑賞し「自分1人の声で感情を表現してみたい、あんな声を出してみたい」と思ったことがクラシックを学ぶきっかけになりました。

♪ 2 生涯学習について

楽器は弾く、吹く、叩くなど音楽表現はさまざまありますが、歌う（声を出す）という行為は唯一の表現方法です。すなわち、自分の体が楽器そのもの。体一つで演奏することができるので、声が出ている限り歌うことができます。生涯を通して学ぶ、という観点から見ると、歌は非常に適しています。

歌うことで正しい腹式呼吸が身に付き、体の緊張を取り除く効果があります。表情を明るく保つことで顔の筋肉が鍛えられ、アンチエイジングにもなります。たくさんの曲と出会うこと、学ぶこと、それは必ず人生において変えようのない財産になると、私は信じています。

♪ 3 8月と2月のコンサートへの思い

クラシック音楽は、敷居の高いイメージを持たれる人が多いと思います。私たちはクラシック音楽を学んできましたが、同時に、童謡やポップスなど昔から歌い継がれているものや、大ヒットする音楽がどれほど素晴らしい物であるかも理解しています。

来年2月に開催されるカジュアルクラシックコンサートは、ジャンルの垣根なく、自分たちが感銘を受けた曲を披露します。皆さまの心にダイレクトに届くよう演奏しますので、ぜひお越しください。



「コーラスけやき」の練習風景

間口さん出演のアンバーホールイベント

仙台フィル×ベートーヴェン交響曲第7番ほか
久慈・ベートーヴェン交響曲連戦演奏会Vol.4

- ▶日時…8月28日(日)14時開演
- ▶会場…アンバーホール大ホール
- ▶料金…S席3,500円/S席ペア5,000円
A席2,500円/高校生以下A席無料
- ▶出演者…企画・指揮：茂木大輔、演奏：仙台フィル
ソリスト：間口友美、片寄純也、田村洋貴
- ▶プログラム…交響曲第7番、交響曲第8番、
三重唱曲「おののけ、不実な子ども」

■プレトーク&公開リハーサル

- 整理券が必要です。詳細は問い合わせください。
- ▶日時…8月27日(土)14時～17時

～トリオ・ベアリッシモの気軽に楽しむ音楽会～
カジュアル クラシック コンサート

- ▶日時…令和5年2月5日(日)14時開演
- ▶会場…アンバーホール小ホール
- ▶料金…一般1,500円/高校生以下無料
- ▶出演…間口友美、佐藤慎悟、青野由衣
- ▶プログラム（予定）…糸、瑠璃色の地球、
You Raise Me Up(アイルランド民謡)、
乾杯の歌(オペラ「椿姫」より)、
私が街を歩くと(オペラ「ラ・ボエーム」より)、
花のワルツ(バレエ組曲「くるみ割り人形」より)

間アンバーホール ☎0194-52-2700